

第41回 学芸会

9月30日(土)

本年度も、保護者を始め、多数の皆様にお越しいただきありがとうございました。今年のテーマは「One Stage」。児童生徒1人1人が主役となり、また日本人学校みんなで力を合わせ1つの大きな舞台を成功させようという思いもって練習に励んできました。学芸会を通して、また1つ学校の団結が深まった行事となりました。

和太鼓演奏から始まり、フォルクローレなどの音楽発表、そして演劇発表と、各学年個性あふれる発表が行われ、児童生徒の努力と、一生懸命な舞台に大きな感動が生まれました。

【全校児童生徒による和太鼓演奏 ♪侍魂・アンデス太鼓】

○練習では間違えてしまっていたのですが、学芸会では間違えませんでした。(小2)

○太鼓の練習の時、2年生はまだ回転してたたく演奏の方法を知らなかったのに、回転ができるようになってすごいなと思いました。1年生も新しい曲をしっかりと覚えてくれたと思います。(小3)

○リズムも落ち着いて叩けていました。そして動く所と止まる所をみんなが意識していました。これは練習より良かったです。(中学部)



【フォルクローレ ♪コーヒールンバ】



○間違えずに吹くことができよかったです。(小3)

○いつも息が苦しくなってしまうのですが、当日は思い通りに吹けたので良かったです。(小5)

○チリでもやったことはなかったので、初めてだったのですが、良い経験になったと思います。楽しく、リズムにのって吹くことができました。(小6)

○きれいに演奏できた。もっと難しい曲にも挑戦したい。(中学部)

【全校合唱 ♪ビリーブ】



○大きな声で歌えました。(小2)

○小学1年～中学3年生までというめったにできないことをやったので、自分たちでもすごいと思いました。アンデスタイムに練習した成果が出せました。(小5)

○いろいろな気持ちがつまった歌詞を歌いながら、私なりの気持ちを込めました。(小6)

○私はハーモニーの部分をやっていました。練習を始めたときは、つられて自分のパートと違う部分を歌ってしまっていたのですが、練習を重ね、みんなで美しい音を奏でることができたと思います。今までよりも一番上手に歌えたのではないかと思います。(中学部)

【小学部1・2年生 ♪きらきら星 たのしいね】



○シンバルをおおきくたたけたよ。(小1) ○ピアノカを間違えないでできた。(小1)

○「きらきら星」を間違えずに上手に吹くことができました。(小2)



○「たのしいね」の合奏は私を楽しませてくれました。1・2年生もすごかったです。(小3)

【小学部3～6年 ♪パフ/オーラリー/前前前世 カリブ夢の旅】



○音楽では、強弱などに気をつけて、「次は何の曲か。」など考えながらふきました。合奏・合唱どちらも「練習は本番、本番は練習」だと思ってやりました。(小3)

○3年生は初めてのリコーダーにも関わらず、とてもきれいな音が出せていた。5・6年の僕たちに、一歩

でも近づこうとものすごい努力しているのが伝わった。(小5)

○「前前前世」をたくさん練習しました。当日きれいにハモれて良かったです。(小5)

○「カリブ夢の旅」は裏声で、つられないように大きな声で歌えた。(小6)

【演劇発表 小学部1・2年 スイミー】



○うなぎのところががんばりました。ようすけくん大きな声でがんばっていました。円蔵君も大きな声でがんばっていました。(小1)

○いつもよりもがんばった。後ろを向かないでできた。はなちゃんはクラゲをだすところ、遅れずできました。ニコラス君のうなぎのところ上手にできました。(小1)

○大きな声で発表することをがんばりました。クラゲをもってくるところがうまくできました。さらちゃんがスイミーをがんばっていました。(小1)



○泳ぐときの手の動きが上手にできたと思いました。元気よく大きな声ではっきりと発表することができました。はなちゃんは練習よりも大きな声で歌っていました。(小2)

○恥ずかしかったけど、セリフをきちんと言えました。ニコラス君うなぎのところ上手にできたよ。3年生や5年生や中学生が、長いセリフや難しい動きをしていてすごかったです。(小2)

○スイミーも楽しかったけど、みんなでかぶを引っ張っているのがかわいかったです(小3) ○みんな楽しそうにやっていて、やっている役の気持ちが伝わってきました。一生懸命練習した力が発表に出っていました。(小4)

【演劇発表 小学部3～6年 エルコスの祈り】



○私は昼休みにもたくさん練習をしました。その中で一番心に残ったのは、理事長室の練習です。練習したからこそ、本番にいい演技ができたと思います。私は改めて練習は大切なんだなと思いました。ほかの行事でも練習をたくさんしていきたいと思います。(小3)

○最初は緊張していたけれど、舞台上に立ち、練習のことを思い出したら、緊張がなくなりました。けれど、油断すると、大きな失敗をしてしまうので、いつでも真剣に取り組んだ練習を思い出しました。そしたら大成功でした。最高の学芸会になったと思います。(小3)

○ぼくは理事長と生徒を演じました。理事長役では、えらそうに歩くところを頑張ったので、本番は大丈夫だと思いました。生徒役では、踊りの部分は先生に大丈夫と言われたので、安心しました。(小3)

○ぼくは、劇でその役を果たすために、言葉をすらすら言ったり、演技を大きく動いたりする工夫をしました。その結果、劇はみんなと力を合わせてお客様に伝わる劇ができたと思います。(小4)

○表情や指先まで気を付けて、練習しました。今までで一番上手に仕上がったと思います。成功です！ボゴタ日本人学校全員で力を合わせて良い学芸会を作りあげられたと思います。(小5)

○劇の練習を家でも「上達できるように」と心がけて沢山練習することができた。台本をそのまま読むだけでなく、自分の感情、動作などを付け加え、改良していった。エルコス役の友達はグッとくるようなセリフを、6年生の二人が演じていたダニエラ・パルタはものすごい迫力で演技ができていて、素晴らしい先輩達だなと思った。学芸会を振り返ると「あっという間だったな」と思う。「誰でも必ずいい物を持っている。」「大切なのは許すという気持ち。」これらをこれからの僕たちの生活に生かしていきたい。(小5)



○劇のセリフ覚えや、演技を頑張って練習してきました。本番では、今までで最高の演技ができました。また歌もリズムよく歌えたので、嬉しかったです。エルコスになりきれてよかったです。

(小5)

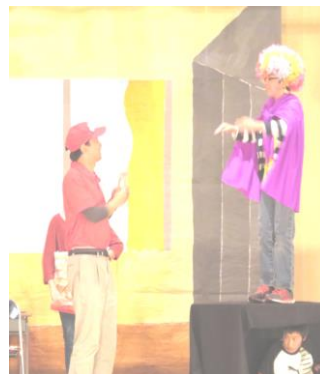
○舞台の演出であるスモークがかなり役立っていたようだった。また、パルタの「こわさ」がたくさん出せたと思う。私にとって、3回目の学芸会だが、私の劇を去年の物と比べると、さらに演技力が上がっていて、すごかった。また、高学年としての自覚が強まったと思う。今年も大成功だったと思う。

(小6)

○私はとにかく、早くセリフを覚え、演技に集中することを頑張ってきました。友達が上手くなっていくのを見ると、私も頑張らなくちゃ!!と勇気をもらいました。セリフ1文字1文字をはっきり言うこと、止まらないこと、臨機応変にすることを意識しました。みんなを着替えを手伝ったり、ドライアイスをやったりと、協力して一つの劇が成り立っているのだと思います。思う存分力を出し切って、今は後悔無しです。

(小6)

【演劇発表 中学部 10万円^{ラフソディー}狂詩曲】



○今までのミュージカル風の演技ではなく、日常の自分を演じるようにするのが難しかったです。120パーセントの力を出せました。何はともあれ大成功でした。今までで一番印象に残る学芸会になりました。

(中学部1年)

○劇では、流れや動き、習ったことを忘れず、自然に続けて演技をするということを頑張りました。発音はいつもと同じようには言えなかったけれど、その他習ったことは生かしました。

(中学部1年)

○劇は普段のように演じなければならなかったのが、大変でした。私も中学部1年のみんなも一緒に練習してきて、楽しくよい劇に仕上げることができました。コメディを混ぜる部分が大変でしたが、お客様に喜んでいただけたのではないかと思います。短時間の練習でみんなで協力して、良い作品として仕上げることができてよかったです。今年の学芸会では、去年よりもレベルが上がっていたのではないかと思います。そして一人ひとりの児童生徒たちは学芸会を通して、責任や思いやりがもてたと思います。来年も楽しみです。

(中学部3年)